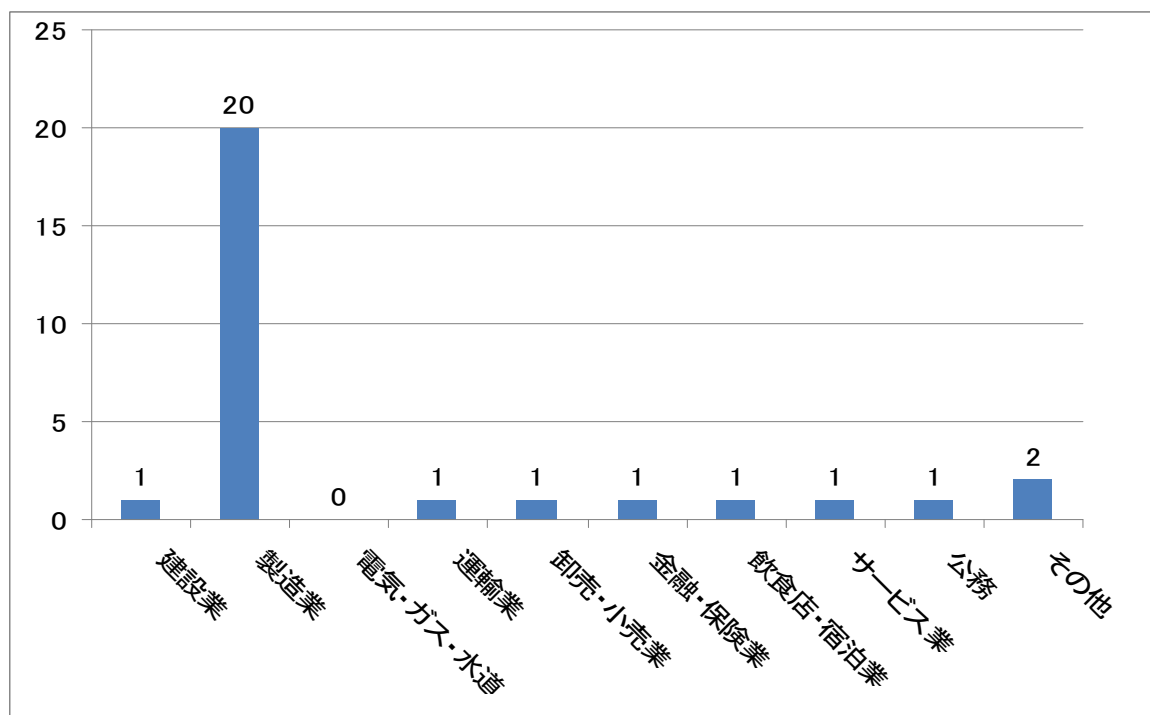
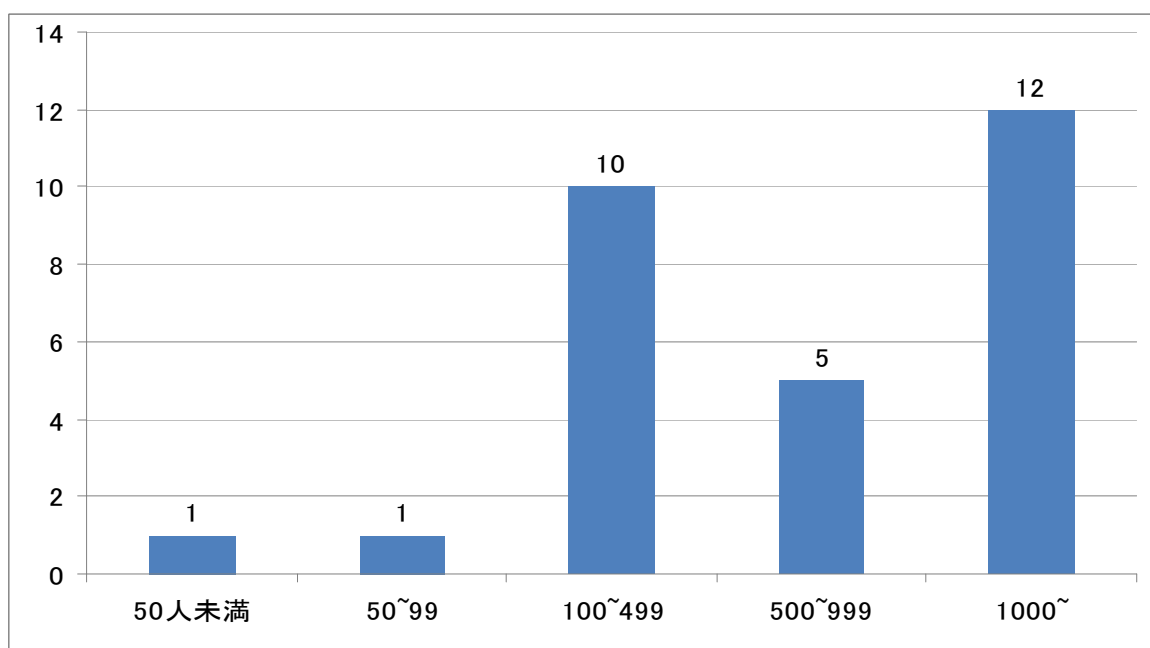


県内事業所における健康対策管理等に関する取組の状況

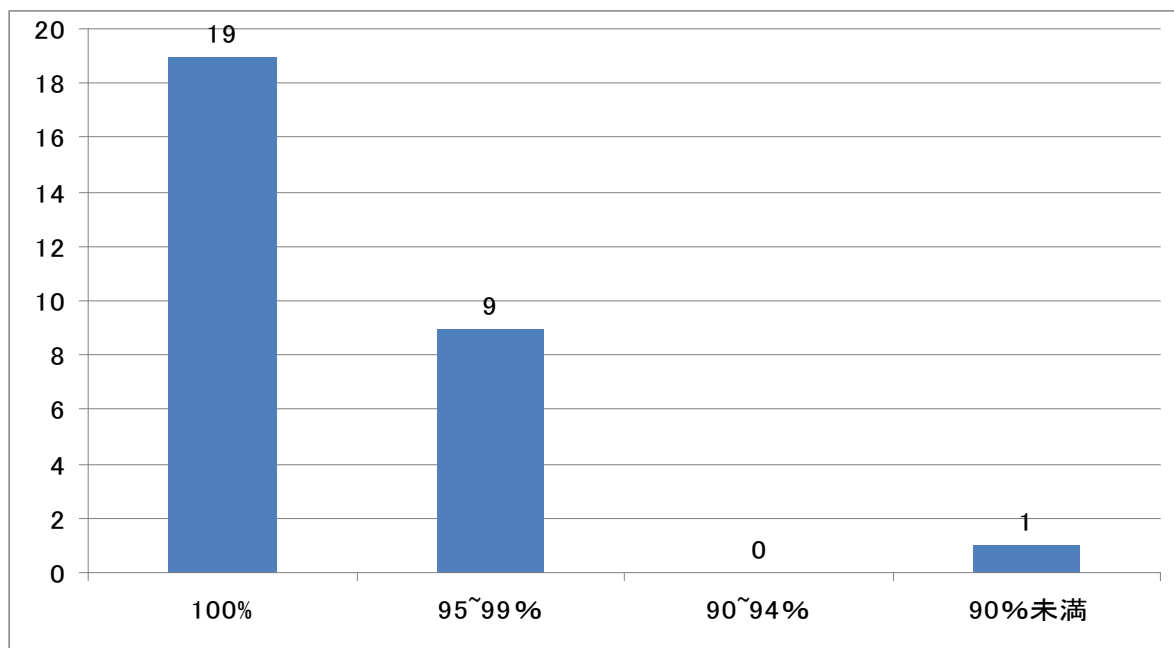
Q 1 業種 (n = 29)



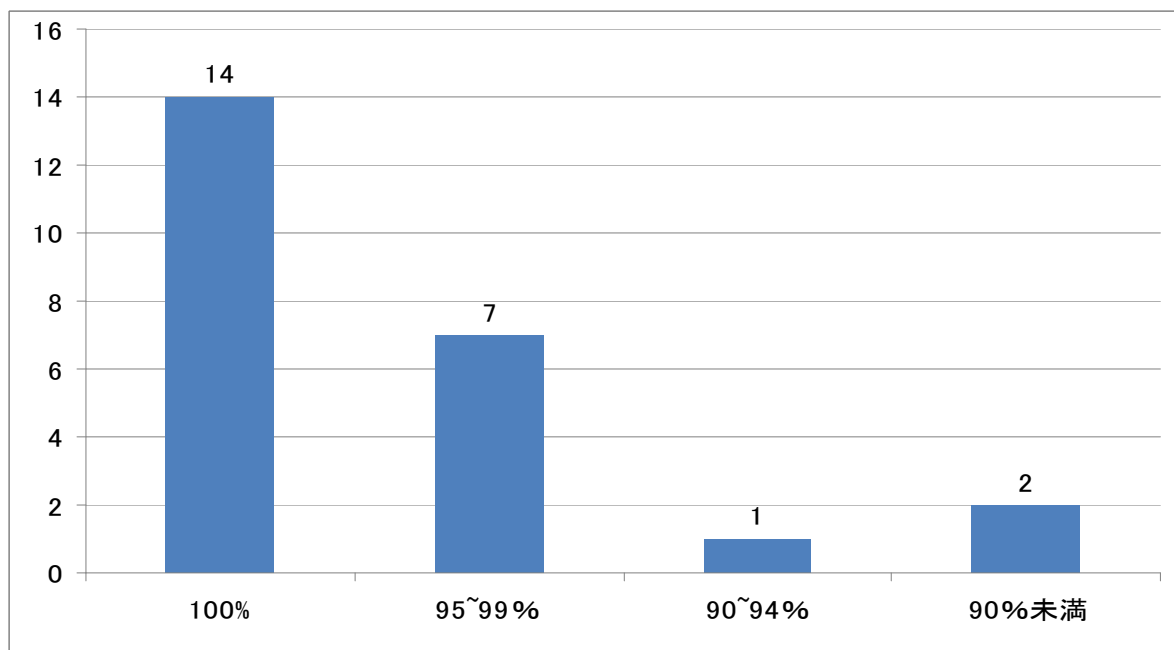
Q 2 従業員規模 (n = 29)



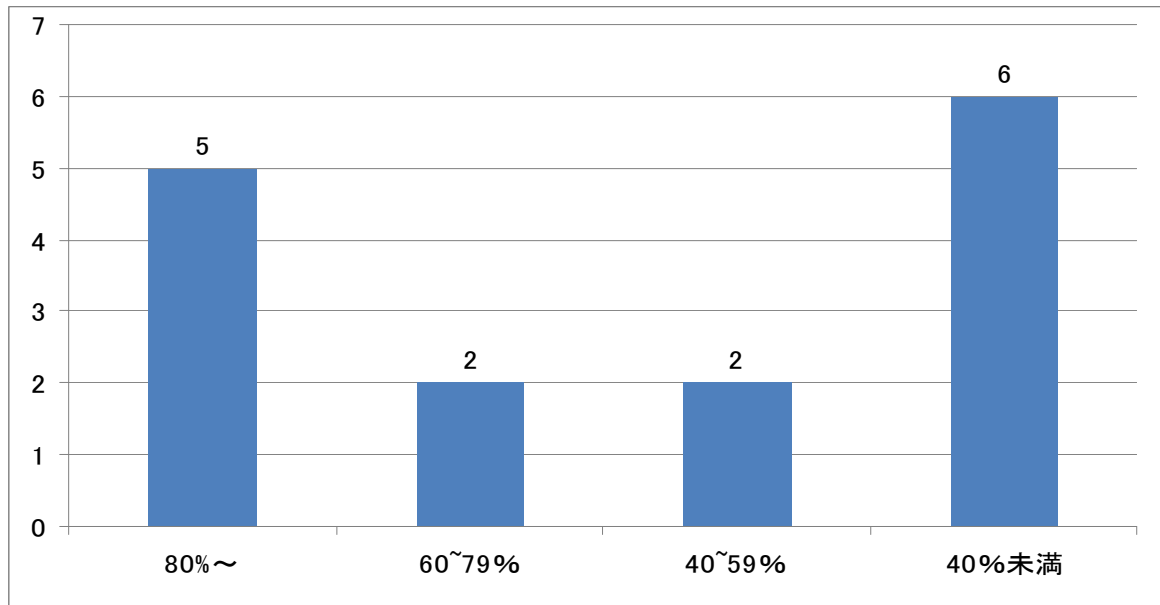
Q 3 - ① 一般健診の受診状況 (n = 29)



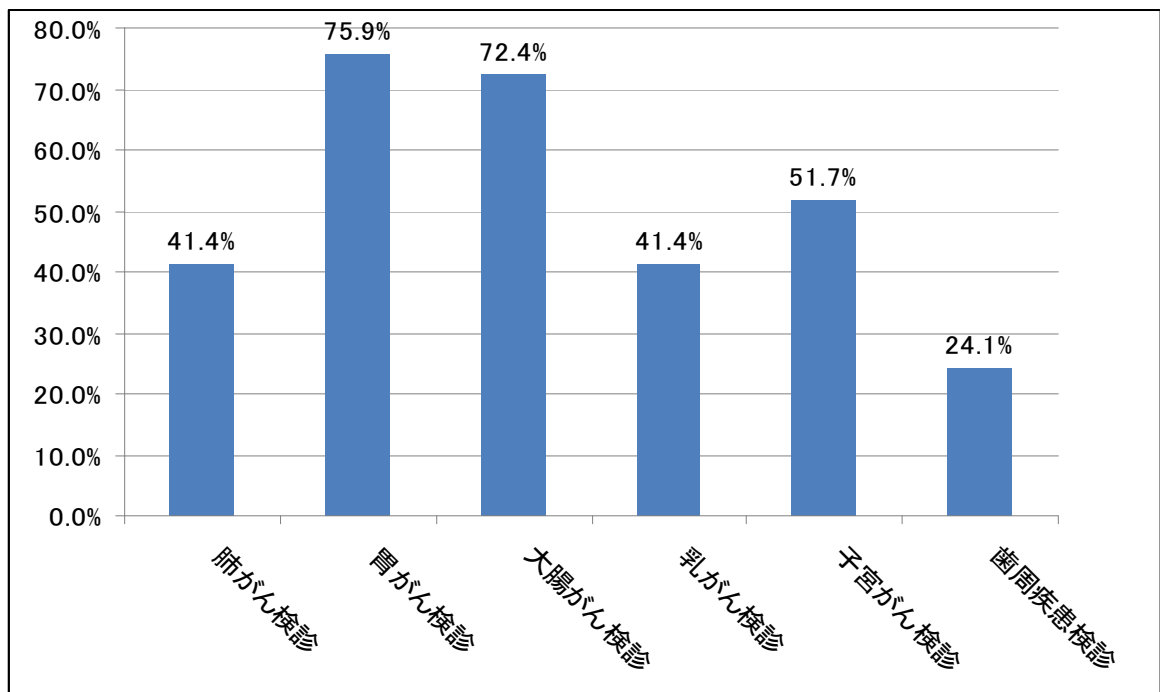
Q 3 - ② 特定健診の受診状況 (n = 24)



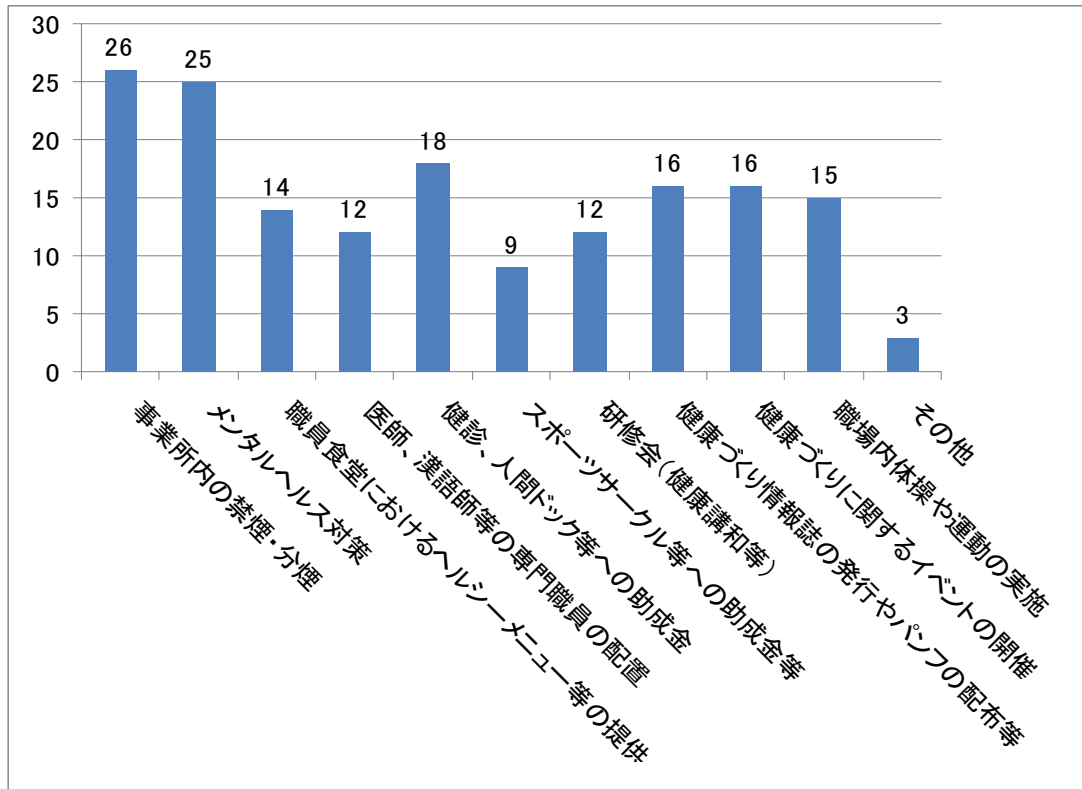
Q 3 - ③ 特定保健指導の実施状況 (n = 15)



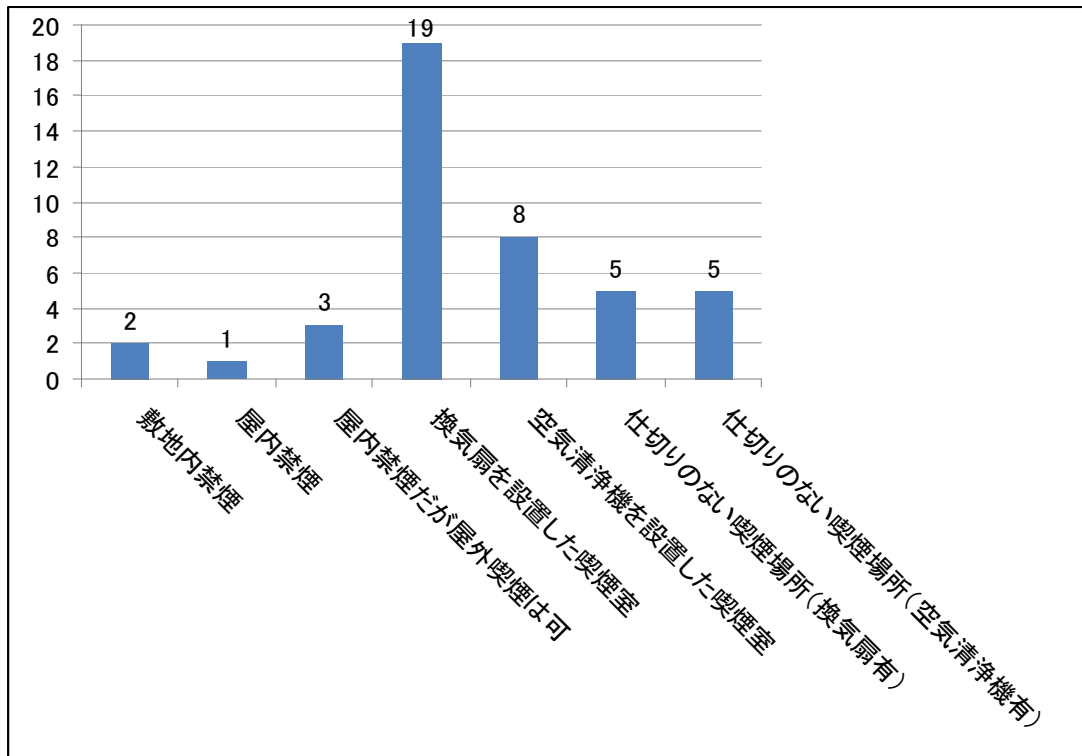
Q 3 - ④⑤ がん健診、歯周疾患検診の実施状況 (n = 29)



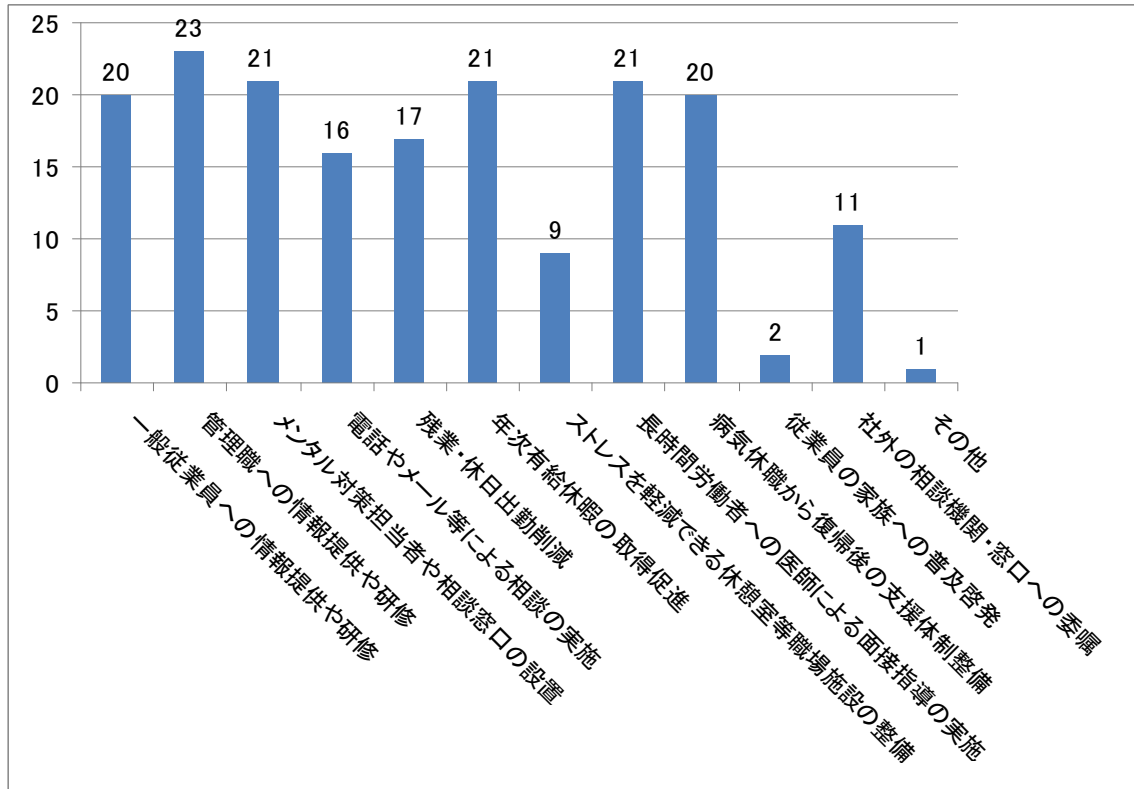
Q 4 取り組まれた健康対策 (n = 29・複数回答)



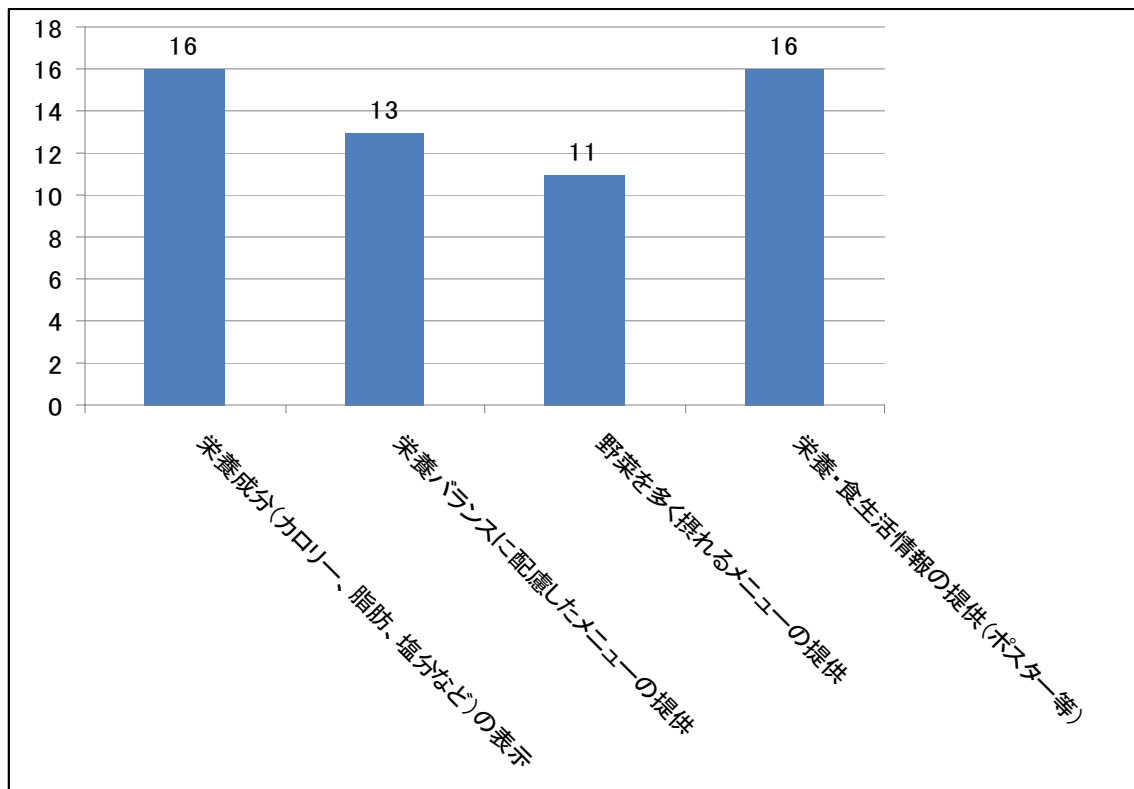
Q 5 - ① 事業所内の禁煙・分煙の状況 (n = 29・複数回答)



Q 5 - ② メンタルヘルス対策 (n = 29・複数回答)



Q 5 - ③ 職員食堂における健康メニューの提供など (n = 29・複数回答)



Q6. 事業所において顧客や県民等の健康づくりを推進するため、平成24年度に取り組んだ内容

- ・ 駅伝大会への参加、ゴルフコンペ開催と参加、ソフトボール大会への参加【日泉科学㈱三重事業所】
- ・ 近隣住民への機関誌を通じた健康情報発信【三菱化学四日市事業所】
- ・ 社員食堂でのTFT (Table For Two)メニュー、ヘルシーサポートメニューの導入【JSR㈱四日市工場】
- ・ 30代前半を対象にしたセルフケア教育(栄養・運動・禁煙)の継続実施、40代に対する心身の健康と運動を取り入れたカラダチェックの実施、食生活に様々な問題を抱える社員(交代勤務、単身生活など)に対する食卓上POPを利用した食事バランスに関する情報提供、社員からのレシピ募集・優秀作品の表彰・食堂でのレシピ提供・HPでのレシピ紹介等、MHP (Mental Health Promotion Plan)専門分科会の発足、外部講師による講演「みんなでつくり～健康イキイキ職場～」及び座談会の開催【㈱東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場】
- ・ 高齢者・障がい者にむけてのサービス向上を目的に職員2名が介護福祉士資格を取得、「三重のおもいやり駐車場利用証制度」の導入(25か店)、点字ブロックの延長(2か店)、環境保全地域貢献活動の一環としての植樹活動「第4回百五の森(伊勢百五の森)」の開催(参加者400名)【㈱百五銀行】
- ・ 健康情報の配信【昭和四日市石油㈱】
- ・ ウォーキングコースの整備、県警職員を対象とした健康セミナーの開催
- ・ 志摩ロードパーティーフマラソンへの協力、熊野古道ウォーキング大会、スキー大会、スポーツリクリエーション大会の実施など、仲間と楽しく身体を動かすことによる心と身体の健康づくりの推進
- ・ 社内及びゲスト施設での禁煙・分煙化の実施
- ・ メタボ対象者削減のための特定保健指導の実施
- ・ メンタルヘルス研修のための「メンタルヘルスセミナー」の実施
- ・ 配偶者の健康診断実施
- ・ 各種スポーツイベントの協賛(うまし国駅伝、鈴鹿シティマラソン、亀山シティマラソンなど)
- ・ 多度町大運動会への協賛
- ・ 三重県産業医会大会(24.10.2)にあわせた健康維持増進大会の開催
- ・ 各種ウォーキングツアーの企画・主催・運営

Q7-1. 平成25年度における各事業所での取組（特定健診受診率、特定保健指導の実施率向上に向けた取組）

- ・ 専門医との相談実施【日泉科学㈱三重事業所】
- ・ 特定健診と定期健康診断の同時実施、総務課担当、職制フォローによる特定保健指導の実施【住友金属鉱山シポレックス㈱三重工場】
- ・ メタボ予防支援活動としての運動習慣定着活動（ウォーキング&筋トレストンプラリー）の継続と参加者拡大施策の企画・推進、保健指導対象者の健康に対する意識改革への支援【旭化成ケミカルズ㈱鈴鹿事業場】
- ・ 第Ⅱ期評価指標達成に向けた改善等の実施【三菱化学四日市事業所】
- ・ 受診漏れ防止のためのチェック実施【大日本住友製薬㈱鈴鹿工場】
- ・ 特定健診と定期健康診断の同時実施、特定保健指導・積極的支援を全員参加型（対象年齢30～60才）として実施
- ・ 定期健康診断への生活習慣病検診の追加【㈱松阪鉄工所】
- ・ 産業医・看護師・トレーナーが協力しての対象者へのサポート【JSR㈱四日市工場】
- ・ 健診実施率100%の維持、前従業員に対する検診事後措置面談の実施、メタボリックシンドローム該当者に対する6ヶ月間の生活改善プログラムの実施（平成24年度において、27.2%の対象者が改善傾向）、改善率30%を目標にした個人面談、集団教育の実施【㈱東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場】
- ・ 要治療該当従業員に対する「定期健康診断再検査受診届」配付による治療・完治のきっかけ作り実施、ヘルスケア特別休暇の取得促進【サラヤ㈱伊賀工場】
- ・ 被扶養者に対しての集団検診の実施継続【昭和四日市石油㈱】
- ・ 特定保健指導の案内、希望者を対象に相談・計画づくりを実施（実績29名）
- ・ 広報誌による回覧・周知
- ・ 健診者による健康診断実施、全ての従業員が受診可能となるように検診項目の増加に努める。
- ・ 特定健診受診を対象者全員が受診するための周知徹底
- ・ 各所属長へのメールによる連絡の実施
- ・ 健康保険組合による健診・保健指導受診勧奨の実施
- ・ 定期健康診断受診率の100%実施
- ・ 就業時間内での健診・指導の実施、特定保健指導対象者の通知・指導について職制を通じて対象者への案内実施、運動指導プランの強化

- ・ 特定保健指導対象者全員への初回面談実施案内、社内ウェブ等を利用した啓発取組の推進
- ・ 従業員の勤務パターンにあわせた健診日の設定（複数日設定など）、有所見者全員に対して保健指導を実施
- ・ 未受診者に対するメールなどによる再呼び出しの実施、部門長への受診要請依頼
- ・ 保健師との連携による未受診者に対する受診勧奨（社員（被保険者）の受診率100%を目標とする）、健保組合と連携による特定保健指導受診の推進、外部専門業者への委託実施
- ・ 特定健診、特定保健指導の高い水準での実施と改善（自主健康管理意識の醸成、保健指導対象者へのメールや電話を通じたきめ細かい呼びかけの実施、健康結果（履歴）の閲覧普及、ポスター掲示、資料配付、社内LAN等による啓発活動）
- ・ 特定健診受診の全職員（非常勤職員含む）への必須化、特定保健指導のパンフレット配付による周知・未受診者への受診促進
- ・ 30歳以上を対象とした特定健診実施、受診日を複数回設定しての受診勧奨
- ・ 健康保険組合との連携強化

Q7-2. 平成24年度における各事業所での主な取組（がん検診）

- ・ 早期発見・早期治療に向けたPR活動実施、健康診断の後のフォロー実施強化【日泉科学(株)三重事業所】
- ・ 定期健康診断における女性特有のがん検診実施（会社側が費用負担）【(株)松阪鉄工所】
- ・ 受診率上昇のためのアナウンス検討【大日本住友製薬(株)鈴鹿工場】
- ・ 健診に対する補助金支給、社内掲示での広報【J S R(株)四日市工場】
- ・ 検診制度の向上（胸部X線1方向→2方向、大腸がん検診1回法→2回法へ変更予定）、胸部CTデモ体験の対象者拡大検討（希望者への実施）【(株)東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場】
- ・ 定期健康診断と同時にがん検診実施（希望者）【サラヤ(株)伊賀工場】
- ・ 受診年齢制限の撤廃、積極的な受診勧奨【昭和四日市石油(株)】
- ・ 広報誌による回覧・周知
- ・ 健康診断項目に、一部のがん検診を採用
- ・ がん検診の有効性についてのPR
- ・ 人間ドック、がん検診受診への助成実施、がん検診の必要性の普及啓発運動実施
- ・ 年齢サイクルに応じた定期健康診断にがん検診を含めて実施
- ・ 平成26年度以降における事業主健診とがん検診の同時実施のための計画検討
- ・ 50歳、55歳での節目健診（人間ドック）の実施、前立腺がんチェックの実施
- ・ 女性健診について、受診方法の改訂及び助成金制度普及に向けた啓発強化
- ・ 定期健康診断への肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん検診の組み入れ
- ・ 郵送健診の推奨
- ・ 肺がん、胃がん、大腸がんを基本項目とする一般健診及び特定健診及び特定健診の受診推進（受診率100%目標）、子宮がん、乳がん検診の全年齢オプシヨン設定（会社及び健保が費用負担）、被扶養者(家族)及び退職社員で健保被保険者に対する特定検診、生活習慣病検診及びがん検診の一部費用負担
- ・ 乳がん・子宮がん検診の推進（受診率向上にむけた健診車による社内での健診実施）、禁煙指導活動（禁煙キャンペーンの実施）
- ・ 受診者（希望者）拡大施策の推進
- ・ 年齢を定めた受診必須項目化、女性健診に対する費用補助などの実施

- ・ 胃がん・大腸がん検診の費用負担、前立腺がん・乳がん・子宮がん検診の一部費用負担の実施
- ・ 定期健診にあわせた腫瘍マーカー検査の実施

Q7-3. 平成23年度における各事業所での主な取組（メンタルヘルス対策）

- ・ 残業時間40h／月を超過しないための指導実施【日泉科学(株)三重事業所】
- ・ メンタルヘルスケアサポート（社外相談機関利用、情報提供など）、心の健康診断「eMe」利用によるセルフチェック実施【住友金属鉱山シポレックス(株)三重工場】
- ・ ラインケアによる指導実施【(株)松阪鉄工所】
- ・ E診断（ウェブ化した心の健康・ストレス診断方法）の導入（自らのストレス状況への気づき・早期対処、各職場の組織診断による職場改善、高ストレス者の早期把握によるメンタルヘルス不調に陥らないためのケアの実施）、メンタル不調者「予防」のための支援に重点を置いた現状の支援活動（セルフケアの充実（教育、カウンセリング）、ラインケアの充実（教育、管理監督者との情報交換））【旭化成ケミカルズ(株)鈴鹿事業場】
- ・ 健康支援スタッフによる各種講演会の実施、専門医による相談室の設置、健康支援スタッフによる相談対応、メンタル休業者の復帰支援体制の強化、外部機関によるEAP（従業員支援プログラム）の設置【三菱化学四日市事業所】
- ・ 外部講師によるセミナー開催の継続、社外の講演・研修受講の推進アナウンス【大日本住友製薬(株)鈴鹿工場】
- ・ 開業医による管理職に対する講義実施、入社3年目社員を対象としたメンタルヘルス研修の実施、全社員を対象としたメンタルヘルス診断【JSR(株)四日市工場】
- ・ MHP（Mental Health Promotion Plan）専門分科会を中心とした特に一次予防に注力した取組、事業所の実態に即した健康イキイキ職場づくりツール開発・モデル職場への展開検討、各層別のメンタルヘルス教育の継続実施、現場監督者に対する積極的傾聴法の研修実施【(株)東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場】
- ・ 退職者・長期休暇者復帰時の産業医面談実施などによる復帰時期の検討や業務のミスマッチ防止【(株)百五銀行】
- ・ 職場リスナー制度の継続【昭和四日市石油(株)】
- ・ 管理職を中心に、メンタルヘルスセミナーへの職員の派遣
- ・ 専門講師による研修会の実施、従業員との面談実施
- ・ 「こころの健康」相談窓口を各職員にメールにて連絡するなどの相談体制の整備
- ・ メンタルヘルス休業者に対する職場復帰後のサポート実施
- ・ 職制の職員を対象としたメンタルヘルス研修の実施
- ・ 相談受入体制の整備、管理職への教育会の実施、セルフケアに関する情報発信

- ・ 職場復帰支援制度の活用、メンタルヘルスの基礎知識、セルフケア・ストレスマネジメント等の情報提供
- ・ 産業医、保健師の職場巡回時における健康相談・面接の実施
- ・ 管理職に対するラインケア・コミュニケーション向上、傾聴法などによる教育実施
- ・ 定期健診時におけるメンタルチェック用紙を用いた個人の健康状態把握、産業医面談によるフォローアップ
- ・ 関係者によるメンタルヘルス推進チームによる事業所内での年間活動の推進、セルフケア対策についての推進強化、復職支援の推進
- ・ 長時間労働者減少にむけての対策強化（休日入社禁止措置など）、休復職支援マニュアルの改訂
- ・ セルフケア・ラインケア教育の継続
- ・ 産業カウンセラーによる相談会の実施（週1回）
- ・ メンタルヘルス担当者（人事及び保健師が担当）の選定・社員への周知徹底、復職支援プログラムの策定による、休職前、休職中、復職時、復職後とトータル的な復職支援の実施、復職にあたっての職場上司、人事労務担当者、健康管理スタッフの連携による復職対応検討、新入社員研修に対するセルフケア研修導入・ストレスへの気づきや気楽な相談促進、新任所課長研修への管理者としての役割の重要性の研修実施、外部カウンセリング機関への委託によるアンケート形式でメンタルヘルスチェックを実施（結果は、外部カウンセリング機関から直接本人に送付、アンケート結果に基づく本人の状態とアドバイスが記載されている）、外部機関によるカウンセリングの実施
- ・ ウェブによるストレス判断の一斉実施、社内メンタルヘルス相談窓口の案内、メンタルヘルス教育の実施、メンタルヘルスの個人相談対応、休職者の状況に応じた職場復帰の支援
- ・ 全職員を対象とした研修の実施、24時間電話健康相談の実施、健康管理医、メンタルヘルス相談医の活用
- ・ セルフケア教室の開催・相談実施、復職に関するプログラムやフロー活用による再発防止対策の実施
- ・ 管理職研修時等にあわせた研修実施
- ・ 本社人事（メンタルヘルス窓口）・産業医との連携を密にしたメンタル疾患の未然防止（職長へのハラスメント防止教育、個人面談など）【サラヤ(株)伊賀工場】

Q7-4. 平成25年度における各事業所での主な取組予定（健康づくり）

- ・ 各種スポーツ大会への参加【日泉科学(株)三重事業所】
- ・ 近隣住民への機関誌を通じた健康情報発信【三菱化学四日市事業所】
- ・ 社員食堂でのTFT (Table For Two)メニュー、ヘルシーサポートメニューの導入【JSR(株)四日市工場】
- ・ 喫煙率・朝食欠食率改善のための目標値設定、THP専門委員会を中心とした健康管理部門、他関係部門との連携による取組、世界禁煙デー（5月31日）を契機とした禁煙倶楽部（仲間）結成による禁煙開始などの取組、朝食摂取のメリットについての食堂食卓POPなどを活用した情報提供【(株)東芝セミコンダクター&ストレージ者四日市工場】
- ・ 高齢者・障がい者にむけてのサービス向上を目的に職員10名が介護福祉士資格を取得、聴覚障がい者の方や高齢者とのコミュニケーション向上のための「簡易筆談機」の設置（全店）、ATMへの荷物置き台（杖掛け含む）の設置拡大【(株)百五銀行】
- ・ 健康情報の発信【昭和四日市石油(株)】
- ・ ウォーキングコースの整備、ウォーキングコースのマップ配付
- ・ スポーツイベントへの協力、社内でのスポーツリクリエーション大会の継続実施
- ・ 禁煙・分煙の徹底、喫煙の健康に与える影響などの啓発などによる喫煙率減少への取組実施
- ・ 配偶者健診及び特定健診の実施、特定保健指導の該当者への指導実施
- ・ スポーツイベントへの協賛
- ・ 労働者の健康増進のための指針に基づく措置を実施、中小規模事業場に対するメンタルヘルス対策支援センターの活用奨励
- ・ 各種ウォーキングツアーの企画・主催・運営